

平成30年度 狹山市立狹山台中学校学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】

- A : よくできている。 (90%以上)
 B : 概ねできている。 (85%以上)
 C : あまりできていない。 (70%以上)
 D : できていない。 (70%未満)

領域	番号	評価項目	評価	自己評価	学校関係者評価委員から
				説明	評価 (文章表記)
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	○制服が揃った統合3年目として生徒・保護者、関係地域への安心感を第一に考え、生徒の主体的な取組と部活動指導の充実、積極的な学校公開を図った。	○職員アンケートにおいて前年度低かった項目が評価を上げていることは、職員が客観的に意識を向け改善につなげていこうという表れと捉え、大いに評価できます。
	2	生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	A	○生徒アンケートにおいて「学校生活は楽しい」の回答が肯定的評価が94%で昨年より上昇。一方、教職員も一人一人の生徒理解に努め、少数の立場も見逃さず見届けと支援に努めている。生徒とともに全力で学校行事に取り組む姿勢は保護者からも評価されている。○「無言清掃」への全校での取組、より生徒の主体的な活動へ進化するよう改善を図る。○学校の施設・整備について安全点検を徹底し、早期発見・早期対応に努める。	○自分の学級は居心地よいと感じている子が多いところから学校がうまく機能している、その子の居場所があるということと察します。施設は古いですが、清潔感がありよいです。
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A		○重点目標が明確に示されている。
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A		○学校長の経営方針を先生方がきちんと受け止め生徒を指導して成果が上がっている。学校生活が楽しいと感じていることが生徒アンケートよりわかり、素晴らしいと思う。生徒中心の学校運営がなされているからだと思う。そのことが「自分の学級は居心地がよい」という学級経営にも出ている。
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	B		○校長先生をはじめとして先生方が多忙のなかきめ細やかな対応をして安心安全な学校運営をされていると思う。
学習	6	教師は、生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	○授業力向上については継続的な課題である。「授業のわかりやすさ」については生徒と保護者アンケートでの数値は上がっていないが、教職員の意識は記述や数値から向上していると捉えた。	○生徒が非常に落ち着いた学校生活を送っている様子かうかがえました。
	7	生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A	○落ち着いた学習環境は保持できている。	○来年度から道徳が教科となるので、今までの道徳授業に対する先生方の意識の高揚を図ることが大切である。(15%から27%になっているのがよい。)
	8	生徒は、基礎的基本的な学力・体力を身につけている。	B	○県学習状況調査や新体力テストにおいて数値の向上が見られる。互見授業、研修を継続し、授業改善を進めていく。○家庭学習定着の課題解決に小中一貫教育の視点を持って取り組む。	○落ち着いて生徒が授業を受けていました。テーマに取り組み、明るさを感じられる様子でした。
	9	生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。	B	○進路指導・キャリア教育の充実とよりよく生きるための道徳性の育成を図る。(特別の教科道徳の研修、ハローワーク狹山台の実施など。)	○生徒が落ち着いて学習に取り組める環境が整っていることが大いに評価できます。(清掃、教室内の整備の指導、様々な職種の方々の実際の話が聞けるハローワーク狹山台はとてもよい取組で今後も継続して実施してほしいと思います。
	10	生徒は、進路学習や道徳において自分の将来や夢について考え、自分のことを見つめることができている。	B		
規律ある態度	11	生徒は、進んであいさつをしている。	B	○「あいさつ」について生徒アンケートでもBではあるが高い数値であり、関係者評価や保護者の記述でも評価されている。	○生徒アンケート「学校生活の楽しさ」、「身だしなみ・正しい服装」、「朝読書・朝学習の取組」、「自分の学級は居心地」、「係や委員会の仕事」、「部活動の取組」等の項目がA評価で、生徒の前向きな生活の様子が感じられてとてもよく育っていると思う。
	12	生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	B	○「狹山台中当たり前のこと十ヶ条」の取組で行動基準を明確にし、毎月の振り返りで生徒の自主的な取組を促している。	○生徒から進んで挨拶されるととても気持ちがいいです。学校全体で意識向上していることが伝わります。何より家庭の意識も重要なのだと感じます。時間を守る、決まりを守るは社会で生きていくうえで一番のルールです。
	13	生徒は、時間を守って生活している。	B	○教師は範を示す者として研修に努め、生徒の活動をしっかり見届ける指導を継続していく。	○行事の取組では生徒の話し合い活動は充実していると評価できますが、日常での諸問題も生徒が主体的にかかわっての話し合い、工夫改善を行えるとよいと思います。
	14	生徒は、きまりを守って生活している。	B	○自尊感情を育む活動(道徳、各教科、学校行事など)や人間関係づくりの活動に継続的に取り組む。	○とくに若い先生には、生徒の多様性を受け入れられる器となるよう、様々な感性を磨いてほしいと思います。
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	B	○不登校や欠席がちな生徒への個に応じた対応を継続していく。	
健康・体力	16	学校は、生徒の体力を高めている。	B	○新体力テストでは8割を越える項目で昨年度の県平均を上回っている。	○スマホやゲームで夜更かしをしてしまう生活は改善していかないとならない。
	17	生徒は、体育や部活動に意欲的に取り組んでいる。	B	○体育科への取組、部活動への参加態度など元気な取組が見られる。活気あふれる体育祭には保護者・地域の方が1300人以上来校される。	○厳しすぎることなく、生徒の能力に応じた体力のつけ方の指導であることが評価できると感じます。
	18	生徒は、健康を意識した生活をしている。	B	○保健指導に関しては生活習慣の見直しに力を入れている。睡眠、食事、スマホの指導には家庭の協力が不可欠である。	
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	○保護者アンケートでは「たより等を活用した情報提供」「地域や保護者の期待に応えようとしている」とも肯定的評価90%以上であった。	○学校だよりで学校の様子がよくわかり素晴らしいと思う。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A	○生徒ボランティアや教職員の協力など、地域行事等への具体的な協力ができた。	○様々な職業の人を招き実施されているハローワーク狹山台は、生徒の社会へのイメージが作られていく貴重な教育活動だと思えます。